平成３０年度　第４回　四街道市水道事業及び下水道事業運営審議会会議録

日時	平成３１年１月８日（火）午後１時３０分～午後２時１０分
場所	四街道市企業庁舎　２階会議室
出席委員	太田会長　本澤副会長　加藤委員　下里委員　那須委員　山本委員 清水委員　菱谷委員　松隈委員
欠席委員	なし
事務局出席者	阿部上下水道部長　外谷経営業務課長　石井水道課長　御園下水道課長 島津課長補佐　粟飯原係長　板倉係長　黒岩係長　宍倉主事
傍聴人	１名

～会議次第～
１．開会
２．会長挨拶
３．議題
　（１）四街道市上下水道事業ビジョンについて（答申）
４．答申
５．市長挨拶
６．その他
７．閉会

〇会議の概要
・太田会長より開会の挨拶
・会議の公開、会議録の発言者明記の承認
・傍聴人の入室（１名）

〇議題
太田会長：それでは、議題に入らせていただきたいと思います。議題（１）四街道市上下水道事業ビジョンについて（答申）ということで、事務局よりご説明いただきたいと思います。

≪事務局：内容説明（四街道市上下水道ビジョンについて（答申）≫
　（各委員に事前送付をしており内容確認済）

太田会長：この内容につきまして、ご質問あるいはご意見等ありましたらどうぞお出しいただきたいと思います。いかがでしょうか。
～全委員異議なし～
　では、異議無しということでご了解をいただきましたので、この答申（案）につきましては確定をさせていただきたいと思います。つきましては、最終的にお渡しするものとして、この段階でこの（案）は外していただき、確定版といたしたいと思います。よろしくお願いします。この

後は、事務局の方で答申の準備があるようですから、休憩を挟みたいと思います。

～休憩～

太田会長：会議を再開させていただきたいと思います。先ほどご確認いただいた答申について、印を押した原本の写しをお手元にお配りしております。委員の皆様にも再度ご確認いただきたいと思います。よろしいでしょうか。それでは、こちらを本審議会からの答申としてお渡しすることといたします。事務局はよろしいでしょうか。お願いします。

〇答申
〇市長挨拶

事務局：佐渡市長におかれましては、別の公務のため、大変恐縮ではございますがここで退席させていただきます。

太田会長：ありがとうございました。それでは最後になりますけれども、皆様、約一年の間、真摯なご議論を重ねていただきまして心から感謝を申し上げたいと思います。先ほど、審議会全体の意見として、ビジョンの推進において留意していただきたい旨を記載した答申をさせていただきましたので、今日で、本ビジョンに関連して開催される審議会は最後になります。よろしければ、本ビジョンの策定にご尽力いただいた各委員の皆様から一言頂戴したいと思います。それでは那須委員より順番によろしくお願いします。

那須委員：日本下水道協会よりまいりまして、私は短い間でしたが、ありがとうございました。下水道事業はより一層経営状況が厳しくなってくるとは思いますが、下水道は市民生活に必要不可欠ですから、是非今回作成したビジョンを活用して、より良い経営と今後の発展に向かっていただければと思います。ありがとうございました。

下里委員：ありがとうございました。今回の審議会に参加させていただいて知ったことがたくさんありましたし、様々な事が動いているなという感想を持ちました。私の周りの人たちも、本当に四街道のお水はおいしいと言っていますし、ずっとそれがいただけるものだと市民の人は思っていると思います。ですが、昨今の国の方針などを見ていると、それがどうなってしまうのかという不安がありますし、市民の方は詳しい内容までは知らないと思います。市の職員の方たちもこれからのために努力してくださるとは思うのですが、その結果が良い方向に向かってくださると良いなと思っております。

加藤委員：私は四街道市指定管工事業協同組合の代表として今回は参加させていただきました。実際に四街道市の上下水道の方たちと一緒に、四街道市の水のために、本管工事や漏水の対応等、組合としても日々努力させていただいております。今後も引き続き、市と協力して四街道市の水を守っていきたいと思います。ありがとうございました。

松隈委員：私も参加させていただいたときは、本当に水のことを知らなかったものですから、審議会の場で教えていただいて、水の大切さがわかりました。今まで当たり前のように飲んでいた水を、将来にどのようにつないでいくかという課題がはっきりと見えましたし、そのためには市民もよく理解して協力できることは協力する、あるいは行政側がしっかりとした対応をしていただければ、未来につながっていくと思います。本当にありがとうございました。感謝しております。

菱谷委員：水は今の石油以上に将来的には重要だと言われていますし、水源は大切にしなくてはいけないと思います。ただし、今回の審議で引っかかっているのは、この場で話しても仕方ないことですが、そもそも取水制限は、急速に工業化が進んでいた時代に大量に水を使って、地盤沈下が起きたということで広がっていったわけですね。そう考えれば、今の時代になってもまだ取水制限が必要なのかということは、よく考えなければいけないのかもしれません。実際問題、東京駅は取水制限により浮き上がっていて、逆にそれを抑えなければいけない、といった話もあります。取水制限については、問題意識として今持っています。ありがとうございました。

清水委員：いろいろと言わせていただきましたが、このような形でまとまったことを嬉しく思います。ありがとうございました。一つだけ言わせていただくと、四街道も含めて人口減少という事態に陥っていて、水道も下水道も大変な状況を迎えているということは納得できます。ただ、これをどうやって打開するかという展望が見いだせない。もう少し原点に遡れば、日本の人口が減少しているという問題にメスを入れてこれを解決していかないと、どこでも同じ問題が生まれてくるのではと思います。つまり、人口減少をどうやって食い止めるか、その本格的な検討を日本全体で検討する必要があるし、それなくして根本的な解決は難しいのではないかなと思います。

山本委員：私は日本水道協会から参加させていただきました。ご承知のように、昨年末に水道法が改正となりまして、国会等で様々な議論がなされている中で、水というものに非常に国民の関心も高まっているのではないかなと思います。これから政省令ですとか、様々なガイドラインが示されていく中で、水道法改正を踏まえた事業としての取り組みがあると思いますので、それと併せてビジョンも推進していただければと思います。また、それに当たりましては、多くの報道がなされていく中で関心が高まっている今この機会に、行政の方々も市民の皆様とコミュニケーションを深めていただいて、より良い事業の推進に努めていただければと思います。ありがとうございました。

本澤副会長：印旛沼下水道事務所の本澤でございます。私は下水道関連の代表ということで、副会長を務めさせていただきました。水道のことでは、四街道市の水源は大半が井戸だということを聞いて、県内でもかなり珍しい状況だなと、かなり驚きました。一方で、下水道については私からのお願いになりますが、不明水については、県の方としても各市町村にお願いをしているところでございまして、そちらについては市民の皆様にもご協力をお願いすることがあると思います。よろしくお願いします。ありがとうございました。

太田会長：ありがとうございました。私については最後にご挨拶させていただきます。

〇その他
太田会長：その他の議事につきまして、事務局から何かございますか。

事務局：上下水道部長の阿部でございます。市長からも御礼の挨拶がございましたが、審議会委員の皆様には、本市上下水道事業ビジョンの策定に当たりまして、様々な視点から貴重なご意見を賜りますとともに、慎重なご審議をいただき、誠にありがとうございました。あらためて御礼申し上げます。

それでは、本ビジョンに関する今後のスケジュールについて、簡単にご説明させていただきます。本日いただきました答申をもとに、1月15日から2月15日まで本市市民参加条例に基づく市民意見提出手続でありますパブリックコメントを実施いたします。その後、パブリックコメントの結果を踏まえまして、本年度中に策定・公表してまいりたいと考えております。なお、現在皆様のお手元にありますビジョンに掲載されていない写真やイラスト、語句の調整などにつきましては、策定・公表までに完成することとなります。以上、議事のその他として、今後のスケジュール、また、簡単ではございますが、私からの御礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

太田会長：最後になりますので、御礼を含めまして挨拶を簡単にさせていただきます。1年の長きにわたりまして、本当に真摯にご議論いただきましてありがとうございました。立派なビジョンができたところですが、今後はこれを市民の皆様の理解と了解を得た中で着実に進めていけるか、ということを問われると思います。そこがなければ、絵に描いた餅になってしまいますので、是非委員各位もビジョンを見守っていただきたいですし、市民の立場からしっかりと行政に対する目を光らせていただくとともに、その具体化に向けた取り組みについては、委員各位の立場で引き続きご尽力をいただきたいということを切にお願いをさせていただきたいと思います。喉元過ぎればという言葉がありますが、一方で災害は忘れたころにやってくるという言い伝えもございます。特に最近は忘れたころではなく、頻繁に大小の災害が起こっていて、昨年の漢字一字は「災」ということでしたけれども、そのような時代あるいは時期に入ってきていると感じております。その中において、上下水道は市民生活の最も基本的なインフラであり、これが機能しなくなるということは日常の暮らしそれ自体が機能しなくなるということで、大きなダメージを受けることになりますので、どんなことがあっても持続可能な形で引き継いでいかなければならない、と思っております。是非、そのような認識を共有していただき、引き続き四街道市の上下水道事業ビジョンの具体化に向けた取り組みに関して、委員各位からのご協力をお願いいたしまして、私からの御礼の挨拶といたします。それでは、本当に長い間お疲れ様でした。これをもちまして、平成30年度第4回四街道市水道事業及び下水道事業運営審議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。